

季刊 旬のブンカが集うコミュニティマガジン

ブンカ

BUNKA

vol. 92
2024 spring

旬の文化が集うコミュニティマガジン 季刊 **ブンカ** BUNKA vol.92 2024.3.15



Interview
誰よりも真摯なクラシック音楽への奉仕者
指揮者 チョン・ミョンファン氏

発行 公益財団法人 福井県文化振興事業団 福井県立音楽堂(ハーモニーホールふくい)
〒918-8152 福井市今市町40-1-1
☎0776-38-8282 https://www.hhf.jp

(公財)福井県文化振興事業団

CONCERT INFORMATION

2024.4 - 2025.3

「ハーモニーホールふくい」コンサート情報

一般発売日 3月16日(土)

- 5.1(水) 19:00開演 ジェイコブ・コーラー ピアノライブ!
- 5.30(木) 19:00開演 ウィーン少年合唱団
- 6.16(日) 14:00開演 チョン・ミョンファン指揮 東京フィルハーモニー交響楽団
- 6.28(金) 19:00開演 ヤメン・サーティ ヴァイオリンリサイタル

一般発売日 4月20日(土)

- 7.7(日) 10:00,12:00開演 ハーモニーびくにつく
- 7.14(日) 15:30開演(予定) めざましクラシックス in FUKUI
- 7.19(金) 19:00開演 仲谷理沙 & 高橋優介 ピアノデュオコンサート

一般発売日 5月25日(土)

- 8.10(土) 13:00開演 音楽劇「死んだかいぞく」
- 8.12(月・休) 19:00開演 若い芽コンサート2024

一般発売日 6月22日(土)

- 9.8(日) 13:00開演 沼尻竜典指揮 オケストラ・アンサンブル金沢
- 9.20(金) 19:00開演 あられクインテットが奏でる 木管五重奏の世界
- 9.21(土) 15:00開演 村治佳織 & 村治奏一 ギターデュオコンサート
- 9.28(土) 19:00開演 小曾根 真 featuring 中川英二郎

発売日 7月6日(土) 会員先行発売なし

- 11.10(日) 15:00開演 アンドリス・ネルソンス指揮 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

※各種発売日(11/10公演除く)は下記の通りです。
特別協賛会員先行: 一般発売の4日前
友の会会員先行: 一般発売の3日前
一般発売日: 記載日

一般発売日・整理券配布開始日 7月27日(土)

- 10.6(日) 11:00,14:00開演 「ステージできく」コンサート(仮題)
- 10.19(土) 14:00開演 オルガン・ミニコンサート
- 10.20(日) 16:00開演 デンマークの最高峰トリオ ドリマーズ・サーカス
- 11.2(土) 16:00開演 八神純子Live キミの街へ

一般発売日 9月14日(土)

- 12.1(日) 14:00開演 ピアノと読み聞かせて綴る 絵本コンサート
- 12.7(土) 14:00開演 Krajaと過ごす北欧のクリスマス
- 12.13(金) 19:00開演 フィルハーモニクス ウィーン=ベルリン
- 12.21(土) 15:00開演 堀米ゆず子 & 大宅さおり デュオリサイタル

一般発売日 10月26日(土)

- 1.5(日) 15:00開演 東京チェロアンサンブル New Year Concert 2025

一般発売日 11月30日(土)

- 2.15(土) 14:00開演 音楽×お芝居「リスト ~愛の夢~」
- 3.2(日) 15:00開演 廣津留すみれ トーク&ヴァイオリン・リサイタル

整理券配布開始日 1月18日(土)

- 3.23(日) 15:00開演 福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナー 成果発表会
- 3.29(土)・30(日) 10:00開演 オープンデイズ2025

※原則として、就学前のお子様のご入場はご遠慮いただいております。
※公演情報は2024年2月28日現在のものであり、都合により変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

- 越のルビーアーティスト・プロデュース公演
- HHFオリジナル企画



チケットのご予約・お問い合わせ
ハーモニーホールふくいチケットセンター
TEL.0776-38-8282
[10:00~17:00・休館日を除く]

チケットはネットから365日いつでも購入できます!
QRコード
ホームページ
https://www.hhf.jp/



花桃回廊(大野市)



ハナモモに少し遅れて見頃を迎える、大野市乾側地区のシバザクラ。こちらも地区住民らが水田や土手を利用して始めた取り組みで、「花のジュータン 芝桜」として観光スポットとなっている。

花のジュータン 芝桜
場所 / 大野市乾側地区、銀掛地区
アクセス
●JR越前大野駅より車で約8分

九頭竜花桃回廊
場所 / 大野市下山、朝日、下半原など
岐阜県境に向けての国道158号沿線



満開の時期も移ろう
奥越の桃源郷

水がぬるみ、花の季節です。春の訪れが少し遅い奥越では、4月下旬から5月にかけて、ピンクや白のハナモモが多くの人目を惹かせてくれます。

ハナモモの里を作った地域の活性化につなげようと、大野市の和泉地区で2010年に始まった「越前おおの・九頭竜花桃回廊プロジェクト」。地域住民らによる実行委員会が中心となり、県内外から募った植樹希望者と共に3年間で1500本の苗木を植えました。九頭竜国民休養地や道の駅「九頭竜」など見どころは各地にあり、場所によって開花時期が違うため長期間楽しめるのも魅力です。

追肥や雪囲いなど木の管理には、地区外からのボランティアも活躍。県外の人が、自分が植えた木を見に訪れることも多いそうです。中部縦貫自動車道の建設も着々と進み、中京方面からの福井の玄関口となる和泉地区。美しいハナモモは観光や流通だけではなく、人と人をつなげる役割も果たしているようです。

※表紙の写真は、魚眼レンズを付けたカメラで4方向360度撮影したものをパノラマ合成したものです。

CONTENTS

- 1 今号の表紙
- 2 Essay アーティスト・イン・レジデンスが地域にもたらすもの 文 朝倉由希氏
- 3 Interview 誰よりも真摯なクラシック音楽への奉仕者 指揮者 チョン・ミョンファン氏
- 5 「ハーモニーホールふくい」自主公演情報
- 9 越のルビーアーティスト 松谷由美氏 (ヴァイオリニスト)
- 10 私の好きなハーモニーホールふくい 牛田智大氏 (ピアニスト) / カーテンコール
- 11 アートシーン 米谷清和氏 (日本画家)
- 12 アートの息吹 問屋町ランドマーク (福井市)
ふんかの足跡 小野忠弘氏 (美術作家)
- 13 2024年4~6月開催「ハーモニーホールふくい」コンサート情報
- 14 Information

Essay

アーティスト・イン・レジデンスが
地域にもたらすもの

文 朝倉由希

アーティスト・イン・レジデンス(以下AIR)は、芸術家やクリエイターなどがある地域に一定期間滞在(レジデンス)し、制作を行う活動あるいはその場・施設を指す。アーティストが普段とは異なる環境に身を置いて、その地の風土や出会う人々からインスピレーションを受け表現活動を行うことで、研鑽を積む機会となる。



ZEN AIR 中村厚子氏の作品「行雲流水木 木人まさうたい石女たつて舞う。」内覧会(土肥家の蔵にて)。

時代のAIRと呼べるかもしれない。話を現代に戻そう。90年代以降日本で広がりを見せるAIRは、文化振興だけでなく、地域づくり・地域活性化の文脈からも注目される。特徴的なのは、美術館や劇場といったハコを飛び出し、街並みや風景、あるいは住民が生活する地域にまで活動の場が広がっていること。過疎が進む地域の廃校となった校舎や空き家が、活動拠点や発表場所となる例は全国で見られる。住民が見どころしていた地域の資源にアーティストが光をあて、地域文化を再認識する機会になった事例は多い。制作物やパフォーマンスを目標に人が訪れ、にぎわいが生まれる効果もある。

ただし「アーティストを呼べば地域が活性化する」と考えるのは短絡にすぎる。AIRはアーティストの創造活動を支えるシステムであるが、彼らのまなざしが地域文化の再評価のきっかけとなることで、地域に新しい発想や刺激がもたらされる。地域外からの視点を受け入れ共に楽しむオープンな土壌が耕されてこそ、地域再生や活性化など幅広い効果につながるのである。



あさくら ゆき ●福井生まれ・在住。京都大学文学部卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科応用音楽学博士後期課程修了。博士(学術)。アートマネジメント、文化政策を専門とする。2017年度から文化庁地域文化創生本部研究官。2021年4月から公立小松大学国際文化交流学部准教授。福井県芸術文化アドバイザー。共著に「文化で地域をデザインする—社会の課題と文化をつなぐ現場から」(学芸出版社、2020)など。

指揮者

チョン・ミョンフン

Myung-Uhun Chung

誰よりも真摯な
クラシック音楽への奉仕者



チョン・ミョンフン ●韓国ソウル生まれ。マンネス音楽学校、ジュリアード音楽院でピアノと指揮法を学ぶ。ザールブリュッケン放送響音楽監督および首席指揮者、パリ・オペラ座バステュー音楽監督、フランス国立放送フィル音楽監督等を歴任。1997年に本人が創設したアジア・フィルの音楽監督も務める。2001年東京フィルハーモニー交響楽団のスペシャル・アーティスト・アドヴァイザーに就任、2010年より桂冠音楽監督、2016年9月に名誉音楽監督に就任。アジアの若い演奏家への支援、ユニセフ親善大使、アジアの平和を願う活動など多岐にわたり活躍している。

音楽は人と人を結びつける魔法の言葉

6月にパイプオルガン設置20周年を記念するコンサートに、東京フィルハーモニー交響楽団を率いて登場するマエストロチョン・ミョンフンは、誰もが認める世界のトップ指揮者です。今回は、オルガンの壮麗な響きが堪能できるサン＝サーンスの交響曲第3番を聴かせてくれますが、マエストロはこれまでに、パリ・オペラ座バステュー音楽監督や、フランス国立放

送フィルハーモニー管弦楽団音楽監督などを務め、フランス音楽に深い造詣を持っていることでも知られています。そんなマエストロに、フランス音楽の魅力を語っていただきました。

「音楽は、その国の文化や社会を何よりも反映するものです。例えば、フランス語を話さなければフランス人の言っていることは分かりませんが、音楽は違います。音楽は、人と人をつなぐことができる魔法の言葉なのです。」

私は40年以上フランスやイタリアに住んできましたが、作曲家を理解するためには、その国の文化のいろいろな面を知ることがとても大切だと考えています。例えばフランス語は、音の感覚に微妙なニュアンスがありますが、それは良いフランスワインが味と同時に香りがとても大切であることとよく似ています。そうした微妙な色の世界がフランス音楽にも反映されているのです。

今日、世界はともオープンになり、音楽家たちは、その作

曲家がどういう音を求めているのかということを理解して演奏できるようになっています。東京フィルも、フランス音楽を演奏することに何の問題もありません。スタイルも音も、フランス人のようですよ」

本当に美しいものを聴きにきてください

クラシック音楽を聴くためには特別な教養が必要だと思われがちですが、マエストロチョンはクラシック音楽の素晴らしさはすべての人に開かれていると信じています。

「確かにクラシック音楽には他の音楽とは少し違った点があります。まず、何世紀にもわたって発展してきた長い歴史のスタート地点がキリスト教会であるということ。目に見える物質的な世界だけではなく、精神的な世界、魂から生まれ出るものをクラシック音楽は描こうとしてきました。そしてその長い歴史の中で、数多くの偉大な作曲家が生まれてきたこと。私たち演奏家は、できるだけ多くの人

にこの素晴らしい音楽を知ってもらう義務があります。その際に私たちが仕える主人はこの作曲家たちで、これも他の音楽とは違った点ですね。こうした特別さが、クラシック音楽に慣れない人にとっては理解するのが難しいと感じるところかもしれませんが、理解とは多層的なものであり、どのレベルで聴いても美しいのでまったく心配することはありません。福井の皆さん、どうぞ試しに聴きに来てみてください。何も勉強する必要はありません。ただ心と耳を開いてくださりさえすれば、本当に美しいものを聴いた」と思えるはずですよ」

「日本の家族」と共に福井へ

マエストロチョンは現在、東京フィルの名譽音楽監督を務めています。初めて共演したのは2001年のこと。以来20年以上にわたり、人間としても、また音楽上でも理解を深め合ってきたという両者。そんな東京フィルのことを「日本の家族」と

呼ぶマエストロチョン。「私が一番心配しているのは、東京フィルの皆さんが働きすぎることでです！」と笑って話してくれたその表情からは、単なる音楽上のパートナーという以上の深い絆を感じることができました。

構成・文／室田尚子
(音楽評論家)



リハーサルにて互いの音楽を深め合うマエストロと東京フィルハーモニー交響楽団のメンバー。2024年2月21日/東京オペラシティ コンサートホール (写真提供: 東京フィルハーモニー交響楽団)

6/16(日)

協賛: FUKUVI 福井信用金庫

Organ 20th Anniversary with 石丸由佳
チョン・ミョンフン指揮 東京フィルハーモニー交響楽団

●大ホール/13:15開場 14:00開演
●S席・車いす席 ¥10,000 A席 ¥8,000 B席 ¥6,000
(小〜大学生:半額) 特別協賛会員 2割引

出演/指揮:チョン・ミョンフン、オルガン:石丸由佳、管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団
曲目/プロkofiev:バレエ組曲「ロミオとジュリエット」抜粋
サン＝サーンス:交響曲 第3番「オルガン付き」 40

(協力: FBC、(公財)坂井市文化振興事業団、大野市)

※詳細はP.5へ

ウィーン・イヤー291



2024年3月16日に北陸新幹線の金沢〜敦賀間が開業します。これまでも北陸地域に縁の遠かった関東圏の方々にもぜひ福井にお越しいただき、福井の自然や食、歴史や文化を体験していただきたく思います。そんな想いを込めて、ハーモニーホールふくいでは「ウィーン・イヤー291(ふくい)」と題し、11月のウィーン・フィルハーモニー管弦楽団公演をはじめ、音楽の都「ウィーン」にちなんだコンサートを多数企画しました。

まず5月30日には、ウィーンの音楽大使として世界中で愛されているウィーン少年合唱団が登場します。創立525年の伝統を誇るウィーン少年合唱団は、世界のトップクラスに位置する美しい響きを誇り、2017年にはオーストリアのユネスコ無形文化遺産に登録。変声期前の10歳から14歳で構成される約100名のメンバーは、ハイドン、モーツァルト、シューベルト、ブルックナーというウィーンゆかりの作曲家の名前がつけられた4つのグループに分けられ、ウィーン国立歌劇場やウィーン・フィルハーモニー管弦楽団との共演のほか、海外公演を行なっています。世界のさまざまなメロデーで四季を綴る今回のプログラムに

北陸新幹線開業記念！ ”音楽の都”の風が福井に

6月28日には、2022年に25歳の若さでウィーン国立歌劇場管弦楽団のコンサートマスターに就任し、世界をあつと驚かせたヤメン・サーディが初来福を果たします。イスラエルのナザレに生まれ、ダニエル・バレンボイムに見出され10代でウエスト・イースタン・デイヴァン・オーケストラのコンサートマスターも務めた話題のヴァイオリニストが今回福井公演のプログラムに選んだのは、ブラームスの第2番と第3番のヴァイオリン・ソナタ。確かな技術とウィーンで育まれた感性で正統派のドイツ音楽をお届けします。

また、ウィーン生まれの世界的ヴァイオリニスト、クライスラーが作曲・編曲した作品も披露。クライスラーが実際に使っていた名器ストラディバリウスの音色とともに、音楽の都の風を福井まで運び込んでくれそうです。共演は、ドイツで生まれ育ち、2021年にクララ・ハスキル国際ピアノコンクールで優勝。現在はドイツを拠点に、ヨーロッパで活躍している国際派ピアニストの中川優芽花。若い才能による化学反応も楽しみです。



協賛: Kowa 興和江守株式会社

ウィーン少年合唱団 北陸新幹線福井・敦賀開業記念

5.30 木 18:15開場 19:00開演
大ホール

全席指定・車いす席 ¥5,000(小〜大学生:半額)
出演/合唱:ウィーン少年合唱団、カベルマイスター:オリヴァー・シュテッヒ
作曲/岡野貞一:ふるさと、米津玄師:パプリカ
J.シュトラウスII:ワルツ「美しく青きドナウ」
ガーシュウィン:オペラ「ボーギーとベス」から「サマータイム」 ほか

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 3/12(火) 友の会: 3/13(水)
一般 3/16(土)



合唱: ウィーン少年合唱団

協賛: 福井テレビ

ヤメン・サーディ ヴァイオリンリサイタル ウィーンから愛をこめて

6.28 金 18:15開場 19:00開演
小ホール

全席指定・車いす席 ¥4,000(小〜大学生:半額)
出演/ヴァイオリン:ヤメン・サーディ、ピアノ:中川優芽花
作曲/クライスラー:愛の喜び、愛の悲しみ、美しきロスマリン
ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ 第2番、第3番 ほか

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 3/12(火) 友の会: 3/13(水) 一般 3/16(土)



ヴァイオリン: ヤメン・サーディ



ピアノ: 中川優芽花

11/10(日)「ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団」公演 県民優先購入チケット(要エントリー・抽選制)

福井県在住で、5/30公演、または6/28公演ご来場の方に、11/10(日)「ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団」公演S席チケットを確実に購入できる優先購入チケットを公開抽選にて進呈します。

■各40組(160席)限定: お座席はお選びいただけません。
■抽選参加方法: 5/30公演、または6/28公演のチケット購入時に、【抽選参加付きチケット(各公演の開催1ヶ月前まで販売)】をお求めください。

ハーモニーホールふくい チケットセンター TEL.0776-38-8282 (10:00~17:00)

協賛: FUKUVI 福井信用金庫



Organ 20th Anniversary with 石丸由佳 チョン・ミョンファン指揮 東京フィルハーモニー交響楽団

6.16 日

13:15開場 14:00開演/大ホール
S席・車いす席 ¥10,000 A席 ¥8,000 B席 ¥6,000
(小〜大学生:半額) 特別協賛会員 2割引!

出演/指揮:チョン・ミョンファン
オルガン:石丸由佳、管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団
曲目/プロコフィエフ:バレエ組曲「ロミオとジュリエット」抜粋
サン＝サーンス:交響曲 第3番「オルガン付き」 ほか

(協力: FBC、(公財)坂井市文化振興事業団、大野市)

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)

会員先行 特別協賛: 3/12(火) 友の会: 3/13(水)
一般 3/16(土)



指揮: チョン・ミョンファン

オルガン: 石丸由佳

20周年を迎えたオルガンその壮麗な響きをぜひ！
ハーモニーホールふくいのパイプオルガンはドイツの名門、カール・シュツェク社製。今年、設置から20周年を迎えるのを記念して、オルガン開きの際に出演したチョン・ミョンファン指揮、東京フィルハーモニー交響楽団が再び登場です。
プログラムのメインは、サン＝サーンスの交響曲第3番「オルガン付き」。通常、交響曲は4つの楽章からできていますがこの曲は2楽章構成。第1楽章と第2楽章をひとつに、第3楽章と第4楽章をひとつに結合するという新しい試みの作品で

す。オーケストラの中にオルガンとピアノの二種類の鍵盤楽器が使われているところも特徴のひとつ。サン＝サーンス自身、優れたピアニスト、オルガニストでもあり、その経験と手腕が楽曲の中に活かされています。特に、大聖堂に響き渡るようなオルガンで始まる第2楽章の後半に注目。オルガンとオーケストラが織りなす色彩豊かな音楽を存分に堪能ください。
オルガン演奏は、シャルトル国際オルガンコンクール優勝後、日本を代表するオルガニストとして活躍する石丸由佳。幅広いダイナミックレンジを持ち、特にロマン派作品の演奏に特徴を発揮するハーモニーホールふくいのオルガンをどのように奏でるのか、楽しみです。
演奏会前半にはプロコフィエフのバレエ組曲「ロミオとジュリエット」を。音楽の細やかな表情を紡ぎ出すことにかけては並ぶものがないチョン・ミョンファンと東京フィルとの長年にわたるパートナーシップが生み出す演奏が、皆さまを至福の時間へと誘います。

6/16 アカデミー開演
6/15 公開リサイタル
詳細情報は
こちらから
3/9公開予定



管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団

ハーモニーバス(坂井市・大野市内からの無料バス)を運行!
お問い合わせはハーモニーホールふくい TEL.0776-38-8289(9:00~19:00・休館日を除く)

フレンドリーアート号(福井県内からの無料送迎バス)のお申し込みは
福井県文化課 TEL.0776-20-0580まで。



ピアノ：高橋かほる



オルガン：山本真希



フルート：内田彩葉美



ヴァイオリン、ヴィオラ：山口梨恵



ソプラノ：東 園

かほるです。
は、巧みなアレンジとトークで多彩なプログラムを操るピアニスト高橋

協賛：(公財)げんでんふれあい福井財団
Organ 20th Anniversary with 山本真希
ハーモニーぴくにつく ～はじめてきたよ この場所に～

7.7 日

2回公演 ① 9:30開場 10:00開演
② 11:30開場 12:00開演
大ホール
全席指定・車いす席 ¥1,000(0歳～高校生:¥500)
出演/ピアノ:高橋かほる、オルガン:山本真希
フルート:内田彩葉美
ヴァイオリン、ヴィオラ:山口梨恵、ソプラノ:東 園

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 4/16(火) 友の会: 4/17(水)
一般 4/20(土)

クラシック音楽鑑賞のコツは
ここで学んじやおう

ハーモニーホールふくいのオルガンと福井のアーティストの演奏でお届けする、休憩なし45分間のコンサート。楽しみながら鑑賞のコツも学べると好評です。今回は、20周年を迎えたオルガンを中心に、ピアノ、フルート、ヴァイオリン、ヴィオラに歌が加わってより一層子どもたちが楽しめる内容となっています。ナビゲーターは、巧みなアレンジとトークで多彩なプログラムを操るピアニスト高橋

協賛：福井新聞社 FBC 福井テレビ

仲谷理沙 & 高橋優介
ピアノデュオコンサート

7.19 日

18:15開場 19:00開演/小ホール
全席指定・車いす席 ¥3,500
(小～大学生:¥1,500)
出演/ピアノ:仲谷理沙、高橋優介
曲目/ドビュッシー:牧神の午後への前奏曲
ラヴェル:序奏とアレグロ
ラヴェル:ラ・ヴァルス ほか

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 4/16(火) 友の会: 4/17(水)
一般 4/20(土)

鍵盤の魔術師たちが
鮮やかに魅せる

越のルビーアーティストの仲谷理沙が、ピアノ・デュオ「アンセットシス」でもお馴染みの高橋優介とお贈りするコンサート。ドビュッシーやラヴェル、ガーシュウィンなどの作品を、2台ピアノでお楽しみいただきます。ハーモニーホールふくい公演の他に、おおい町でのアウトリーコンサートも予定しています。



ピアノ：仲谷理沙



ピアノ：高橋優介



ピアノ：ジェイコブ・コーラー



野村亮太



野村亮太



横山太晟

「いしかわ金沢・風と緑の楽都音楽祭」改め「ガルガンチュア音楽祭」の福井公演。ジェイコブ・コーラーはアメリカ生まれ日本在住、クラシックとジャズの両方のジャンルで活躍するピアニスト。映画音楽を自らアレンジしたアルバムが大好評を博しています。本公演ではジュニアピアニストとの共演コーナーなど、ジャンルレスな音楽をお届けします。

協賛：ますも証券
ガルガンチュア音楽祭inふくい
ジェイコブ・コーラー ピアノライブ!

5.1 日

18:15開場 19:00開演/小ホール
※70分(休憩なし)プログラム
全席指定・車いす席 ¥2,000
(小～大学生:半額)
出演/ピアノ:ジェイコブ・コーラー
ガルガンチュア音楽祭ピアノオーディション優秀者
野村奏太、野村亮太、横山太晟
(企画制作:ガルガンチュア音楽祭実行委員会)

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 3/12(火) 友の会: 3/13(水)
一般 3/16(土)

ジャンルレスなピアニストの
音楽にひたるひととき

めざましクラシックス in FUKUI

7.14 日

14:45開場 15:30開演(予定)/大ホール
全席指定・車いす席 ¥7,000
(小～大学生:半額)
出演/ヴァイオリン、トーク:高嶋ちさ子
司会:軽部真一
(主催:福井テレビ)

無料(バス運行)
バス運行(福井県内限定)
フレンドリーアート号
チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 4/16(火) 友の会: 4/17(水)
一般 4/20(土)

元祖「めざまし」コンビで
楽しさいっぱいのクラシック音楽を

1997年にスタートした「めざましクラシックス」通称「めざまし」は、これまでの通算公演回数が400回を超える人気シリーズ。2023年には清塚信也ヴァージョンで福井公演を行いました。今回は高嶋ちさ子・軽部真一の元祖めざましコンビで、魅力たっぷりのコンサートをお届けします。



ヴァイオリン、トーク：高嶋ちさ子 司会：軽部真一

共催：福井新聞社

若い芽コンサート2024

8.12 日

18:15開場 19:00開演/小ホール
全席自由・車いす席 ¥2,000
(小～大学生:¥500)
出演/松本美優(ヴァイオリン)、松並寧音(ピアノ)
渡邊彩生(ピアノ)
フェスティバル・カルテット
(ヴァイオリン:松谷由美、荒井亮子
ヴィオラ:笠川 恵、チェロ:荒井 結)
曲目/第1部:ソロ・ステージ
第2部:弦楽四重奏との共演ステージ

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 5/21(火) 友の会: 5/22(水)
一般 5/25(土)

未来へ羽ばたく若き才能が
憧れのステージへ

音楽を学ぶ福井県ゆかりの中学生・高校生の中から、オーディションで選ばれた合格者たちが出演するコンサートです。第1部はそれぞれのソロ、そして第2部はプロの弦楽四重奏団との共演という二部構成。今年も未来へ羽ばたく才能を見つけにいらしてください。



ヴァイオリン：松本美優



ピアノ：松並寧音



ピアノ：渡邊彩生

協賛：株式会社タッセイ

音楽劇「死んだかいぞく」

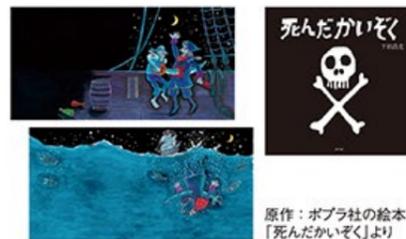
8.10 日

12:15開場 13:00開演/小ホール
全席指定・車いす席 ¥4,000
(4歳～高校生:¥1,000)
脚本・演出:ノゾエ征爾、音楽:田中 馨
出演/山内圭哉 ほか

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 5/21(火) 友の会: 5/22(水)
一般 5/25(土)

大人も子どもも楽しめる
絵本原作の音楽劇

大人気の生演奏付き音楽劇シリーズの最新作は、下田昌克原作の「死んだかいぞく」をお贈りします。人が生きること問いかける物語を、大人も子どもも楽しめる舞台へと創り上げるのは劇団「はえぎわ」主宰ノゾエ征爾と作曲家の田中馨。原作者自身が手がける美術・衣裳・小道具のデザインも見逃せません。



脚本・演出：ノゾエ征爾



山内圭哉



牛田智大(ピアニスト)

うしだ・ともひろ ●1999年いわき市生まれ。2012年3月、ユニバーサルミュージックよりCDデビュー。以降、全国各地での演奏会で活躍。2018年、浜松国際ピアノコンクールにて第2位。2019年、出光音楽賞受賞。



大ホール舞台に近い面積を持つリハーサル室。楽屋裏での慌ただしい準備とは一線を画し、静かな環境で集中した時間が持てると評判です。吹奏楽コンクールや合唱関連公演等では本番直前の最後の練習環境として重宝されています。

私の好きな

ハーモニーホールふくい

広々とした空間に生まれる孤独感
「リハーサル室」

2024年暮開け、いち早くホールに入ったピアニストの牛田智大さんが語ります。「朝の美しい田園風景に佇む外観がとにかく印象的。一歩ホールに入ると、中で待ち受けている広々とした空間にある『孤独な感じ』が気に入っています。緊張感や集中力を高めるのにとっても効果があると思います。「もう一つ気に入っているのは『リハーサル室』」。

「リハーサル室」。リハーサル前のステージはセッティング中のため使えないのが常ですが、ここは天井が高く広さもあって、本番に近い環境で直前まで存分に練習ができます。演奏家にとってコンディションづくりは最重要課題。牛田さんに「理想的」とのお褒めの言葉を頂いた空間、皆さまもどうぞご活用ください。

カーテンコール

ニューイヤーコンサート2024
トマーシュ・ブラウネル指揮
プラハ交響楽団
ピアノ:牛田智大
2024年1月7日(日)開催



約8年ぶりに登場したプラハ交響楽団の力強い演奏と牛田智大の奏でる情熱的かつ繊細なピアノで、新年の幕開けに相応しい華やかな音楽の宴を届けてくれました。演奏が終わると、ホールは溢れる活気と共に、聴衆の心を温かく包み込む雰囲気でもたされました。

- 地震、羽田の事故で心痛い年始でしたが、今年一年がんばろうと思いました。(60代/女性)
- 大きな地震の後、前向きになれる楽曲でした。(40代/女性)
- ティンパニーの方がノリノリで最高です!! 弦楽器の音色も美しかったです!(50代/男性)
- プラハへ愛をこめて、今年も素晴らしいNew yearコンサートをありがとうございました。(30代/女性)
- 青のオーケストラで流れた演奏曲などがあって満足。(10代/男性)



左から 武川ひろみさん
武川英雄さん (坂井市)

今回はラフマニノフを楽しみにしていました。弦楽器のやわらかな音、木管のソロもニュアンスがあり、あたたかく牧歌的な雰囲気。新年にふさわしい素晴らしいコンサートでした。夫婦でよく聴きに来ますが、ピアノの重音が鮮明に響き、いいホールだと再認識しました。



天谷陽子さん (福井市)
ニューイヤーコンサートには毎年来ていますが、同じ曲でも来るたびに新しい感動があります。本場チェコの楽団で聴くヴォルザーク、牛田さんのピアノとオーケの共演も素晴らしい。アンコールを2回も演奏してくれたのは、会場も満席で、オーケのものだったので嬉しいです。



福井ゆかりの音楽家
越のルビーアーティスト

松谷由美 (ヴァイオリニスト)



まつたに・ゆみ ●京都市立芸術大学音楽学部卒業。同大学大学院音楽研究科修了。1999年、京都市交響楽団入団。Trio 遊羽穂、Duo Kiiitosのメンバーとして自主公演やアウトリーチ公演を展開。若い世代への育成事業や文化事業の発展にも力を注ぐ。京都市立芸術大学音楽学部賞、第3回KOBEL国際学生コンクール特別賞、平成23年度げんてん芸術新人賞、平成28年度福井県文化奨励賞受賞。

オーケストラや室内楽などの演奏活動で得たものを、若い世代の音楽家に伝えていきたい。

4歳からピアノを、7歳からヴァイオリンを始め、京都市立芸術大学音楽学部に進学した松谷さん。「地元の大野は小京都と呼ばれ、街の雰囲気や歴史の流れなど共通することが多く親近感があり、大学の雰囲気も私の性格に合っていました」。先輩後輩みんな仲がよく、今に続

くつながらができたそうです。大学の頃から、京都市交響楽団にエキストラとして出演。楽団創立40周年のヨーロッパツアーにも同行し、「歴史あるホールで演奏ができたことは、何にも代えがたい財産」と言います。卒業後は楽団入団と結婚による帰郷が重なり、大野と京都を往復する日々が始まりました。ちょうど同じ時期に、ハーモニーホールふくいも完成。松谷さんは越のルビーアーティストの創設メンバーの一人として登録。「福井に演奏する場所が増え、貴重な経験を積ませてもらいました。20年程前からは福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナーで弦楽講師を務め、若い芽コンサートではフェスティバル・カルテットとして演奏。「楽団をはじめ様々な演奏活動の場で指揮者やソリストの方から学んだことを、若い世代の音楽家に伝えたい。思いの発露を促し、音楽を通して人間形成をしてみたい」と後輩の成長を見守ります。



Trio 遊羽穂
「羽のように軽やかに、そして遊び心を持ちつつ、実り豊かな穂の如き音楽を」この思いを込め2013年結成。室内楽での表現の奥深さと愉しみを追求している。



京都市交響楽団
1956年創立。2023年4月第14代常任指揮者に沖澤のどかが就任。京響は今、新たなステージへ向けて、名実ともに文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

「Trio 遊羽穂」「Duo Kiiitos」で室内楽コンサートを開催し、自宅でも音楽教室を開くなど多忙を極める松谷さん。「3人の子育てと仕事の両立は本当に大変ですが、ひとりの時間を大事にして、じっくり譜読みをしたり身体を休めたり」と、京都と福井、仕事と家庭、演者と講師の間を生き生きと往来しています。「本当に周りの人に恵まれてきました。特にハーモニーホールふくいは自分にとって活動の拠点であり、温かい実家のような感覚。人生の大半をここで過ごせたことに感謝でいっぱいです」とほほ笑みました。

越のルビーアーティストとは、(公財)福井県文化振興事業団運営の「越のルビーアーティストバンク」に登録する福井県出身もしくは在住のプロの演奏家のこと。このアーティストバンクの活動に(公財)げんてんふれあい福井財団にご支援をいただいております。

公式ホームページでは「越のルビーアーティスト」の演奏動画もご覧いただけます。
<https://www.hhf.jp/artistbank/>

- 今後の活動
- 京都市交響楽団 / 2024年3月15日(金)、16日(土) 会場:京都市コンサートホール 第687回定期演奏会 広上淳一(指揮)、ジャン・エブラム・バグゼ(ピアノ)
 - Trio 遊羽穂 / 2024年5月18日(土) 会場:宇治市文化センター 名曲!! タイムトラベル ~音楽史を100倍楽しむ「ヒーロー」の諸相~ 企画、構成、お話し:小宮正安(ヨーロッパ文化史研究家)



日本画家 米谷清和



雨や風、自然が見える1枚の風景を前に 聴こえてくる「音」に耳を澄ませてほしい

花びらが舞う桜、海辺に集う人たち、男の姿と公衆電話：ハーモニホールふくいの2階展示ギャラリーに並ぶ10点の日本画。詩的な雰囲気漂う作品群を手がけたのは、福井市出身の日本画家・米谷清和さんです。

展示作の中でひととき目を引くのは、3点の連作「雨上がりの音」。白と黒の色彩と踊るような筆致で「音」を印象的に表現したシリーズ作品です。米谷さんは「音楽が奏でられるホールにこの連作が飾られるのはとてもうれい」と話し、「雨の絵から音や風景を思い起こしてほしい。観る人によって雨の思い出も聴こえる音も違うはず。どんな音が聴こえたのか、私に教えてほしいですね」と顔をほころばせます。

作品を前に米谷さんは、「何かが生まれるということ、何かが壊れるということでもあり」と言います。例えば湾岸に立つ人々を描いた作品は、埋め立て後は自然豊かな場所であったこ



「雨上がりの音」シリーズ(1998年)。右は水たまりに映ったケヤキ、真ん中は側溝に流れる水の様子、左は噴水から出る水と上から落ちる水の連なりを表現している。



さまざまな素材が並ぶ東京のアトリエ。

よねたに「きよかず」福井市生まれ。高志高等学校卒業後、多摩美術大学日本画科へ進学。在学中に横山操奨学金を受け渡政。1972年日展に初入選。「新しいタイプの絵」として紹介される。作家活動の一方で多摩美術大学教授として45年勤務し、後進の指導にあたった。現在は退官し東京にある自宅アトリエで制作に専念。2002年、2023年に福井県立美術館で展覧会を開催。

■作品展のお知らせ
「米谷清和-音と情景」展
2024年6月1日(土)～6月30日(日)
ハーモニホールふくい展示ギャラリー
※5/30はオープニング・ギャラリートーク開催。
7月以降は裏表紙掲載公演日にご覧いただけます。

アートの息吹

問屋町ランドマーク(福井市)



本社屋上に設置されたオブジェ。応募総数20作品の中から、明石工業高等専門学校(兵庫県明石市)の「FUKUI EYESIGHT SCAPE」が選ばれた。日没から10時頃までの間、気象庁のデータに応じて赤、オレンジ、青などに変化。正月などイベント時にはレインボーカラーに彩られる。

株式会社 永和システムマネジメント
1980年創業。「アジャイル開発」によるソフトウェアの開発・構築で全国的な知名度を持ち、福井を拠点に金融・医療などの分野でDXを後押しする。創立10周年を迎えた1990年に、現在の本社ビルの南側部分を新築。10年後の2000年に北側を増築し、現在のツインビルとなった。福井市問屋町3-111

※「アートの息吹」は県内企業のアートを通じた社会貢献活動をご紹介します。

ソフトウェア開発で全国に知られる永和システムマネジメントの本社は、福井市の問屋町にあります。昨年12月、その屋上に巨大な恐竜の卵のオブジェが登場。これは同社が開催した「ランドマークコンペ@福井市問屋町」で最優秀賞に輝いた、明石高専の作品がベースになっています。卵は夜間、天気によって色を変え、イベント時はレインボーカラーに。土台部分にはめがね王国ふくいにちな

み、ランドルト環がデザインされています。

「会社の場所がわかりにくい」という声を受けて、目印を作ろうと企画。せっかくなら若者の自由な発想を形にしようと、全国の建築デザインを学ぶ学生からデザインを募集しました。北陸新幹線の延伸開業で来客が増える問屋町の新たなランドマークには、次代に託す思いと、担い手である若者のアイデアが詰まっています。

ぶんかの足跡

小野忠弘

(美術作家)

青色を基調に廃材を使って大画面に宇宙的な空間を創り出し、国際的芸術展でも高い評価を受けた小野忠弘。その名は死後も美術史に刻まれ、海外での精力的な発表と共に、坂井市三国町では教育者として後進の育成に努めたエピソードが伝わっています。

青森県出身の小野は、縁あって三国中学校(現・三国高校)の美術教諭として赴任。福井大学工学部では造形学の講義を受け持ち、多くの若者に影響を与えました。町の人や教え子たちの回想録には「やかなの色は黄色じやない!光が当たって緑や灰色やいろんな色が見えるはずだ」絵がさかさまだ!この絵はこちらから見るんだ!と熱弁を振るう様子が。こうした小野スピリットに刺激を受けた若者の中から、世界的に活躍するアートディレクターや建築家なども生まれています。

小野は三国町の景観の素晴らしさ、文化財保護の重要性を説き、東尋坊を描いた絵や、海や花をイメージしたモザイク画などを各所に寄贈・提供しています。終生、活動拠点を三国町から移すことのなかった小野。現存する高台のアトリエには、この土地を愛した彼の創作の魂が残されています。

【おの・ただひろ】
1913年青森県弘前市生まれ。東京美術学校(現・東京藝術大学)彫刻科を卒業後、1942年に三国中学校(現・三国高校)に美術教諭として赴任。疎開していた詩人・三好達治とも交流した。サンパウロ・ピエンナーレやヴェネツィア・ピエンナーレに出品し、漂流物や廃品を素材にして制作する「ジャンク・アート」の旗手として高い評価を受ける。アメリカの雑誌「LIFE」で紹介され活躍の場が広がった。2001年死去。



ONO MEMORIAL (オノ・メモリアル)
河口に広がる三国の風景が一望できる場所にある小野忠弘の住居兼アトリエ。死後、彼の象徴的な青色を外観に配したギャラリーを併設。定期的に企画展を開催している。

住所 / 坂井市三国町緑ヶ丘3-6-13
開館日 / 3～11月の金・土・日および祝日 10:00～16:00 無料
電話 / TEL.0776-82-5666(坂井市龍翔博物館)

平日午後のおトクな企画「ハーモニーブンカさろん」

芸術文化や食にふれたいだけの人気企画。文化にまつわるお話と演奏をお聴きいただけます。県内各店のスイーツやコーヒー・紅茶も楽しみのひとつ。

- 6/18 第31回 ジャズに魅せられて
9/10 第32回 オーロラの国からこんにちは
10/24 第33回 「音楽の都」ウィーンを秘密を探る



2023年の公演から

料金 全席自由：2,500円
発売日 第31回：4月16日(火)
第32回：6月18日(火)
第33回：7月23日(火)

ビジネスパーソンのためのクラシック音楽アカデミー2024

明日のビジネスに生きる講座を音楽と共にお届けします。欧米のビジネスシーンでは必要不可欠な教養、クラシック音楽の魅力に浸りながら、自己成長の一步を踏み出しませんか？

- 6/16 「コンサートホールのオルガン ～アニバーサリー・イヤーに寄せて～」
7/30 「一流が集うウィーンへの誘い ～通訳者が語るコミュニケーションの極意～」
10/25 「〈芸術の都ウィーン〉を支えた経済と音楽」(仮)

「音楽は人と人を結ぶ魔法の言葉」。世界を舞台に活躍するマエストロ・ジョン・ミヨンが語り、その作品に各国の背景や精神など多くの要素が...

編集後記

スポンサーロゴ: URALA, 関西電力, JAKUETS, 日華化学, 福井銀行, 福井新聞社, 福井テレビ, FUKUVI, ますも証券, KINOKI, 興和江守株式会社, 株式会社タッセイ, FM FUKUI, 福井信用金庫, FBC, 株式会社増田舎, 法人協賛社: JAKUETS, 株式会社新内, 福井銀行, 福井信用金庫, FUKUVI, 北陸銀行, 三井物産株式会社

ハーモニーホールふくい コンサート情報

CONCERT INFORMATION

[2024.4.5.6]

- 16 Organ 20th Anniversary with 石丸由佳
24 びあ*びあーの発表会
25 能登半島復興支援
18 第31回 ハーモニーブンカさろん
22 ふれあいコンサート in ふくい
30 ウィーン少年合唱団
23 第100回 福井県合唱祭
6月 1 浅井裕規先生
2 リトルコンサート
8 ビティナ・ピアノコンペティション
9 福井県三曲会
11 福井室内管弦楽団
12 北陸新幹線開業記念
18 米寿記念演奏会
19 福井ブラスアカデミー

- 4月 6 ピアノ発表会
20 羽水高等学校
21 課題曲演奏会 in 福井
27 みんなのコンサート
28 福井大学医学部管弦楽団
29 フリーゲル
5月 1 ガルガンチュア音楽祭

*部は、当ホールの自主公演でP.3～P.7、P.14に見どころなどが紹介されています。(6/18の公演を除き、小学生から大学生まで半額)
※掲載内容は都合により変更される場合がありますので、予めご了承ください。(2/28時点の情報です) ※チケットに関するお問い合わせは、各主催者までお願いします。